

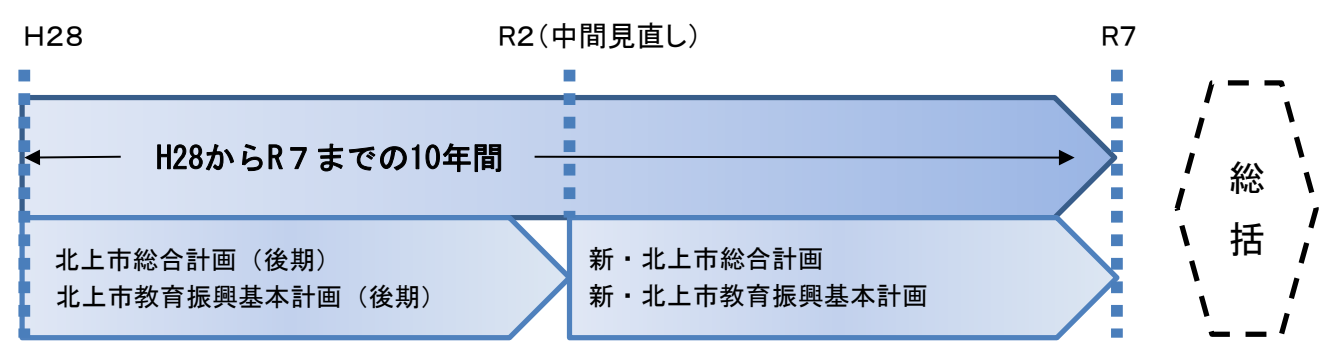
計画策定の趣旨

これまで、スポーツ施策については北上市教育振興基本計画の中で位置づけ、実施してきましたが、平成25年度よりスポーツ部門の所管が教育委員会からまちづくり部となったことを契機に、市民のスポーツ活動の状況や、社会状況の変化や地域特性からみられる新たな課題に対応するため、平成28年度から10年計画となる「北上市スポーツ推進計画」を策定しました。

計画の位置づけ

「北上市スポーツ推進計画」は、国のスポーツ基本計画や北上市総合計画と整合を図るとともに、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示すものとなります。
市で策定した関連計画、関係部署と連携を密にし、市民や関係団体等と協働するなど地域社会全体で生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組むための指針となります。

計画の期間



中間見直しの趣旨

平成28年度に策定した「北上市スポーツ推進計画」について、スポーツ施策の更なる推進を図っていくため、10年計画の5年目にあたる令和2年度にスポーツ環境の変化や計画の進捗具合などを考慮して指標の見直しなどを行いました。



北上市スポーツ推進計画概要版(令和3年3月中間見直し)

スポーツを取り巻く現状と課題

社会情勢の変化

- ・全国的な人口減少と少子高齢化の進展
- ・女性の社会進出と就労形態の多様化
- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯増加
- ・地域における人間関係や連帯感の希薄化
- ・ライフスタイルが多様化するなか性別や年齢を問わず健康志向が高まっている
- ・スポーツツーリズムによる交流人口拡大や地域活性化を図る動きが活発化
- ・新しい生活様式に基づいたスポーツイベントの開催(新型コロナウイルスの影響)
- ・eスポーツが国体で文化プログラムとして行われたり、五輪・パラリンピックの新種目として検討されている
- ・エクストリームスポーツのスポーツライミング、スケートボードが東京五輪の正式種目に採用され、注目を集めている
- ・国による「部活動指導員」の制度化
- ・国による部活動ガイドラインの策定(部活動の適正化を推進)

北上市のスポーツの現状と課題

■市民のスポーツ振興施策に対する意識調査

満足度「第15位」
優先度「第18位」
重要度「第22位」 ※市民意識調査(全31位中)

*スポーツ施策に対する市民意識の向上

■スポーツ実施率が低い

週一回以上スポーツ・運動を行っている市民の割合が国の推計よりも低い ※市民意識調査

*スポーツ活動への取り組み意識を高め健康づくりに繋げる

■子どもの体力

スポーツ少年団の体力テスト結果は低下傾向にある。北上市内小・中学校児童・生徒による体力・運動能力調査の結果は、全国平均を下回る項目が多い ※市教委調べ

*発育年齢に応じた体力・運動能力の向上が求められる

■施設の老朽化

国体関連施設の整備が進んだ一方で、他の施設は老朽化している ※全施設の4割が30年経過

*計画的な整備改修と現有施設の機能強化により持続的活用を図る必要がある

■いわて国体、ラグビーワールドカップ2019の財産を受け継ぐ

関連施設が整備されたほか選手や指導者の育成強化体制が構築され、イベントを支えるボランティア活動も広がりを見せている

*財産をスポーツ及びまちづくり施策に生かす方策づくりが必要となっている

スポーツ推進のための施策

基本施策

施策の方向

指標(R2)

生涯スポーツの推進

- 運動習慣を身につけさせる(幼児期)
- 心身の健全な発育を促進(青少年期)
- 心身の健康維持(成年期)
- 健康寿命の延伸(高齢期)
- 障がい者スポーツの普及促進
- スポーツ活動を支える人材育成
- スポーツ情報Webサイトの整備

スポーツの習慣化率(週1回以上のスポーツ実施)
【現状】25%
【目標】35%

競技スポーツの推進

- トップレベルを目指す競技者の育成と支援
- 競技力の向上
- トップアスリート、優れた指導者の育成
- 市民一体となった観戦・応援機会の創出

・国体出場者数
【現状】40人
【目標】50人
・小中学生の全国大会出場者数
【現状】27人
【目標】40人
・日本代表として国際大会出場
【目標】3人

スポーツによるまちづくりの推進

- 市民一人ひとりがスポーツに親しみ、楽しみ参加できる機会の創出
- 地域におけるスポーツ環境の充実
- スポーツツーリズムの推進
- スポーツ活動を支える人材育成(再掲)

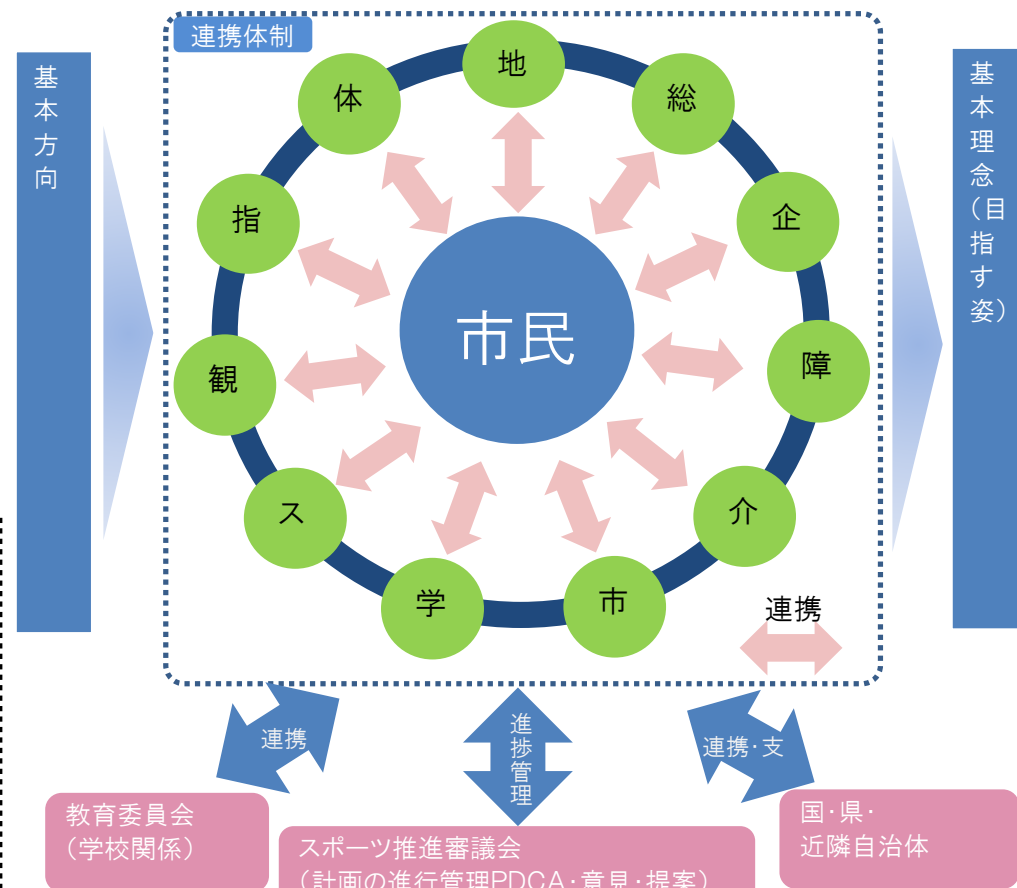
・地域内スポーツ行事参加率
【目標】地区内25%
・合宿、大会の誘致実績(大会)
【現状】9大会
【目標】20大会(合宿)
【現状】11団体
【目標】10団体

スポーツ環境の充実

- 計画的な施設の整備
- 施設備品等の整備
- 既存施設のバリアフリー化の推進
- スポーツ施設周辺環境の整備
- 新しいスポーツに対応する整備の検討

・体育施設利用者数
【現状】840,948人
【目標】828,000人
・体育施設予約システム利用団体の登録数
【現状】154団体
【目標】200団体

計画の推進体制と進行管理



【略字説明】①地:地域団体 ②総:総合型地域スポーツクラブ ③企:企業・民間スポーツクラブ
④障:障がい者関係団体 ⑤介:介護サービス事業所、医療機関 ⑥学:学校等 ⑦ス:スポーツ指導者・スポーツ推進委員 ⑧観:北上観光コンベンション協会・観光関連団体 ⑨指:指定管理者 ⑩体:(公財)北上市体育協会・競技団体・スポーツ少年団

計画策定後は、PDCAサイクルの手法により進捗管理することとして北上市スポーツ推進審議会において、事業の実施状況や効果、指標の達成状況などについて評価や検証を行いながら、より効果的な事業の実施を目指します。また、市民をはじめとした関係団体等へ適切な情報提供を行いながら、着実に計画を推進していきます。

